

[049_2008]第49回附属図書館貴重文物展示：中山森彦と仙厓展

後小路，雅弘
九州大学大学院人文科学研究院

中山，喜一郎
福岡市博物館

黒田，泰三
出光美術館

川上，貴子
九州大学大学院人文科学研究院

<https://doi.org/10.15017/13538>

出版情報：展覧資料，2008-05-08. Kyushu University Library
バージョン：
権利関係：

開催にあたって

九州大学附属図書館長 有川 節夫

九州大学は、三年後の二〇一一年に創立百周年を迎えます。この長い歴史のなかで、附属図書館は本学の学習、教育、研究活動を支えるため、学術資料の収集に務めてきましたが、その中には学術的、文化財的に貴重な資料も少なからず含まれています。附属図書館では、それらを広くご紹介するため、昭和五十四年から毎年、開学記念行事の一環として展覧会を開催してまいりました。おかげさまで本学の学生、教職員だけでなく、市民の方にも多数ご来場いただき、高いご評価をいただいております。

今年、「中山森彦と仙厓」をテーマとして企画いたしました。中山森彦博士（一八六七～一九五七）は、明治四十年から大正六年まで本学医学部の教授を勤められた方で、外科の権威であると共に、美術にも造詣が深く、美術評論家としても活躍された多才な方でした。中山博士は、なかでも江戸後期の禅僧仙厓の作品を深く愛され、その蒐集と研究に情熱を傾けられました。九州大学が所蔵する仙厓の作品は、中山博士が文学部に寄贈されたものです。

本展では、それら仙厓作品の中から三十点あまりを展示いたします。中山博士の愛した仙厓和尚の、ユーモアと機知に富んだ書画をご鑑賞いただき、中山博士の美術愛好家としての業績を偲んでいただければと思います。

また、開催期間中の五月十一日（日）には、福岡市博物館学芸員の中山喜一郎氏による講演会を開催いたします。中山氏は仙厓芸術の研究家として著名な方で、仙厓の作品が持つ、自由奔放さの中に込められた奥深い世界を知っていただくまたとない機会です。ぜひ、こちらにもお運びくださいますようお願いいたします。

今回の展示にあたりまして、人文科学研究院の後小路雅弘教授をはじめとして、芸術学講座の方々に多大のご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

平成二十年五月八日